

政策	I グローバルロジスティクスの港・ものづくりの港(国際産業戦略港湾)	施策推進 責任者	建設部長・港営部長
施策	2 産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成		

1. PLAN(目的・展開内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	船会社、港湾運送事業者、荷主	意図(どういう状態にしたいのか)	充実した道路ネットワークや臨海部の企業進出用地整備により、既存産業の高度化や新展開、新たな基幹産業の創出を促進し、高い国際競争力をもった新たなものづくりの基盤を形成する港	
	サービスの対象物(何を)	道路ネットワーク(臨港道路・広域道路)や臨海部における企業進出用地(物流・産業用地)など			
展開①	臨港道路の整備等による物流効率化やアクセスの向上	展開②	物流企業用地の確保やものづくり産業用地の拡充	展開③	企業立地の促進による創貨
	名古屋港内の渋滞緩和や背後地域とのアクセス強化を図るため、臨港道路の整備や交差点改良を行い、広域幹線道路網の整備を促進します。陸上輸送の大動脈や航空輸送と接続する名古屋港の強みを活かし、更なる物流の効率性や安全性の向上をめざします。		物流企業が進出できる用地を整備、分譲し、物流機能の集積を推進します。また、ものづくり産業の生産機能強化等の土地需要に対応するため、産業用地の拡充を促進します。		企業の立地状況やニーズ等を把握し、企業立地を推進する自治体へ名古屋港の利用促進につながるPRや情報提供を行うとともに、名古屋港管理組合から企業を対象とした情報提供を行い、企業立地の促進による創貨を図ります。

2. Do(施策を構成する各事務事業の取組内容・今後の方向性)

コード	事務事業名 (担当課名)	指標名 【指標型】	25年度	26年度	27年度	目標値	27年度の 状況	27年度実施事業に基づく評価結果		
			上段: 指標 目標値	中段: 指標 実績値	下段: 事業費(単年度・人件費込・国費除く)			28年度以降の方向性		事務事業の方向性を判断した理由 ・目標年次の変更等の理由 等
								成果	コスト	

【展開①】臨港道路の整備等による物流効率化やアクセスの向上

施02 事101	鍋田ふ頭道路(進入)整備事業 (事業推進課)	事業進捗率(整備費換算) 【進行管理型】	-	89.5%	100.0%	100%(累計)	順調	完了	維持	維持	・鍋田ふ頭と背後の広域幹線道路を結ぶ延長約2.3kmの道路整備が完了したため。
			82.5%	89.5%	100.0%						
			1,014,779千円	861,793千円	1,272,787千円	27年度完了					
施02 事102	飛島ふ頭道路(改良)整備事業 (事業推進課)	事業進捗率(整備費換算) 【進行管理型】	-	55.0%	69.7%	100%(累計)	順調	延伸	維持	維持	・交付金事業の予算が十分に充当できなかったため、平成29年度に延伸しますが、事業完了に向けて着実に取り組む必要があるため。 * 今回の評価にて、事業完了年度を延伸(28→29年度)
			17.8%	59.7%	61.5%						
			116,999千円	340,406千円	18,949千円	28年度完了					

【展開②】物流企業用地の確保やものづくり産業用地の拡充

施02 事201	西部地区(第1貯木場) 都市機能等用地整備事業 (管理課)	事業進捗率(整備費換算) 【進行管理型】	-	99.4%	100.0%	100%(累計)	やや遅れ	延伸	維持	維持	・入札不調により平成27年度中の事業完了には至りませんが、平成28年度の方譲地の引き渡しまでに事業を完了する必要があります。 * 今回の評価にて、事業完了年度を延伸(27→28年度)
			96.9%	99.2%	99.5%						
			73,653千円	78,925千円	11,422千円	27年度完了					
施02 事202	西部地区(第2貯木場) 都市機能等用地整備事業 (管理課)	事業進捗率(整備費換算) 【進行管理型】	-	87.1%	100.0%	100%(累計)	やや遅れ	延伸	維持	維持	・分譲地の利便性向上を図るため仮設道路の施工が必要となったため。 * 今回の評価にて、事業完了年度を延伸(27→28年度)
			77.1%	85.7%	99.1%						
			27,253千円	177,295千円	272,814千円	27年度完了					
施02 事203	西部地区(第1・2貯木場) 埋立地の売却 (管理課)	売却公募までの準備状況 (全4工程) 【進行管理型】	-	1工程	4工程	4工程(累計)	順調	延伸	維持	維持	・売却公募を実施したが、分譲予定者が決まらなかった区画があることから、指標を見直し、着実に分譲を行っていく必要があるため。 * 今回の評価にて、事業完了年度を延伸(27→30年度)
			1工程	1工程	4工程						
			438千円	440千円	4,460千円	27年度完了					

【展開③】企業立地の促進による創貨

施02 事301	名古屋港背後地域への企業誘致 (誘致推進課)	企業立地などを目的としたセミナー等にて名古屋港のPR活動を行った回数 【単年度管理型】	-	4回	4回	4回	目標値 どおり	継続	維持	維持	・企業誘致のため関係機関と連携し、より効率的で効果的なPR活動を検討しながら進める必要があるため。
			4回	4回	4回						
			8,115千円	8,029千円	8,088千円						
		施策コスト(合計)	1,241,237千円	1,466,888千円	1,588,520千円						

3. CHECK(成果目標の状況・27年度の取組内容など)

施策 成果目標	実績等	年度			目標値 [30年度]	成果目標の達成度に対する評価(外部要因があればその旨を踏まえて記載)
		25年度	26年度	27年度		
企業立地面積(第1・2貯木場埋立地)	目標値	ha	-	-	公募開始	・第1・2貯木場において、予定通り分譲の公募を実施し、分譲予定者2者と仮契約を締結しました。
	実績	ha	整備中	整備中	(5.1)注1	
臨港道路整備延長	仮目標値※	km	-	(3.1)	(4.0)	・鍋田ふ頭進入道路は、予定通り全面供用を開始したものの、飛島ふ頭道路は整備に必要な交付金事業の予算が十分に充当できなかったため、仮目標値には至りませんでした。
	実績	km	2.1	3.0	3.5	

注1: 27年度は仮契約のため、( )にて表示しております。

注2: 臨港道路整備延長は、28年度を目標年次としております。

※ 仮目標値 = 初期値(25年度) +  $\frac{\text{目標値}(28年度) - \text{初期値}(25年度)}{3年間(25\sim 28年度)}$  × 25年度からの経過年数

構成事務事業の妥当性(施策目的を達成するために構成した事務事業に不足や問題点はないか?)

(見直しが必要な場合、見直しの方向性を記入)

○適正・見直しが必要

4. ACTION(課題・28年度以降の取組方針)

27年度に取り組んだ内容	課題	28年度以降の取組方針
<p>【展開①】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鍋田ふ頭道路(進入)整備事業は、橋梁上部工及び舗装工を施工し、平成28年3月18日より4車線での全面供用を開始しました。【完了】</li> <li>・飛島ふ頭道路(改良)整備事業は、飛島①号線(集中管理ゲート南側)において約200mの改良(切削オーバーレイ)を行いました。</li> </ul>	<p>【展開①】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飛島ふ頭道路(改良)整備事業は、集中管理ゲートの本格運用開始後の物流動線の確保や通行車両の安全性向上のために着実に整備を行っていく必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛島ふ頭道路(改良)整備事業は、整備に必要な交付金事業の予算確保に努めながら、平成29年度の事業完了に向けて着実に整備を進めていきます。</li> </ul>
<p>【展開②】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1貯木場埋立地は、仮設道路を撤去し、給水管敷設工事に着手しました。</li> <li>・第2貯木場埋立地は、仮設道路の整備に着手しました。</li> <li>・第1貯木場及び第2貯木場埋立地をそれぞれ4区画に分け分譲の公募を行い、第1貯木場では2区画、第2貯木場では1区画の分譲予定者が決まりました。</li> </ul>	<p>【展開②】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1貯木場埋立地において、分譲予定者への土地の引き渡しを平成28年8月に予定していることから、給水管の整備を着実に進める必要があります。</li> <li>・第2貯木場埋立地は、分譲地の利便性を高めるため、仮設道路の整備を進めていく必要があります。</li> <li>・分譲予定者が決まらなかった区画については、分譲にあたって、分譲地のニーズを踏まえた公募条件を作成する必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1貯木場埋立地の土地の引き渡し前に給水管の整備を行います。</li> <li>・第2貯木場埋立地の仮設道路の整備を着実に進めていきます。</li> <li>・企業ヒアリング等の結果を踏まえつつ、着実な売却に向けた取組を進めます。</li> </ul>
<p>【展開③】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知・名古屋国際ビジネスアクセスセンター(I-BAC)の実施する外資系ネットワーク懇談会や、愛知県産業立地推進協議会が実施する東京及び大阪セミナー、産業立地キャラバンへの事業協力を行いました。</li> <li>・本組合独自の取組として長野県内、岐阜県内、滋賀県内及び福井県内の企業誘致を推進する市町村に対し、名古屋港のPR活動を実施しました。</li> </ul>	<p>【展開③】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋港及び背後地域への立地を促進するため、継続的に情報提供を行い、未訪問の自治体に対してPR活動を広げていくことにより、名古屋港の認知度をより高める必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、関係機関と連携し、名古屋港背後圏への企業進出意欲の向上を図るとともに、企業誘致を推進する自治体等に対する更なる名古屋港のPRや、企業進出ニーズの把握を行っていきます。</li> </ul>